

**Fujitsu Notebook LIFEBOOK
Fujitsu Workstation CELSIUS
Fujitsu Thin Client FUTRO**

**ノートパソコンの取り扱い
についてのご注意**

目次

本書をお読みになる前に	3
使用上のご注意	3
パソコン本体の取り扱い	3
液晶ディスプレイの取り扱い	4
パソコンを持ち運ぶときは	5
Web カメラの取り扱い	9
放熱について	11
落雷のおそれがあるとき	11

本書をお読みになる前に

このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書をご覧になり、使用上のご注意を必ずお読みください。

お使いの機種によっては、搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。
また本書中のイラストや図は、お使いの機種や状況により異なりますので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

本製品をお使いになるうえでは、『取扱説明書』の「安全上のご注意」および『製品ガイド』もあわせてご覧ください。

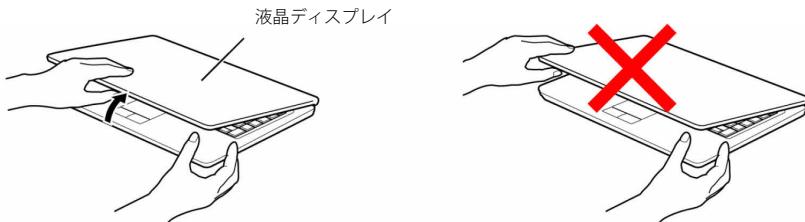
パソコン本体の取り扱い

- パソコンを長時間お使いになる場合は、バッテリーケーブルによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10 秒以上待ってから電源を入れてください。
- パソコン本体内部からは、パソコン本体内部の熱を外に逃がすためのファンなどの動作音が聞こえることがあります。これらは故障ではありません。これらの動作音は機種によって異なります。(ファン非搭載機種の場合も動作音が聞こえることがあります。)
- パソコン本体には静電気に弱い部品が使用されていますので、静電気の発生しやすい場所では使用しないでください。また、使用する前には金属質のものに触れて、静電気を逃がしてください。
- パソコン本体を立てたり傾けたりして置かないでください。パソコン本体が倒れて、故障の原因となることがあります。
- バッテリーパックを取り外すときは、落とさないよう充分ご注意ください。 (バッテリー交換可能機種)
- バッテリーパックを取り外した状態で使用しないでください。 (バッテリー交換可能機種)
- 本体内部に異物 (クリップや金属片、シャープペンシルの芯など) を入れないでください。内部に入ってしまった場合は無理に取り出そうとせず、電源を切って修理に出してください。
- 取り外したペンの芯などの小さい部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。
誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- BIOS のパスワードを設定するときは、設定したパスワードを忘れないよう注意してください。 BIOS の管理者パスワードを忘れた場合、再設定には保証期間内においても有償での修理が必要となります。
- 周辺機器は、弊社純正品をお使いください。
- USB 接続機器をパソコン本体に接続するときは、コネクタの形状が合っていることを確認して差し込んでください。誤った形状のものを差し込むと、故障につながるおそれがあります。

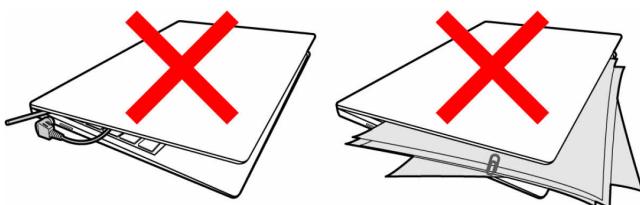
液晶ディスプレイの取り扱い

- 液晶ディスプレイは次のような点に注意して取り扱ってください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。

- ・液晶ディスプレイを開くときは、両方の手を添えて、図のように液晶ディスプレイの中央付近を持って開いてください。



- ・液晶ディスプレイを開いたり閉じたりするときは、ゆっくりと衝撃を与えないようにしてください。
- ・液晶ディスプレイを開くときは、無理に大きく開けないでください。 (360°開くスリムコンバーチブル (2 in 1 モデル) 除く)
- ・液晶ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。
- ・液晶ディスプレイを開いたり閉じたりするときは、Web カメラレンズ前のクリア部分に触れるることは避けて、つめや指輪などの堅いものが当たらないようにしてください。 (詳しくは「Web カメラの取り扱い」 (→P.9) をご覧ください。)
- 液晶ディスプレイの表面および背面に、強い圧力を加えないでください。画面が割れたり、画面にムラが生じる場合があります。
- 液晶ディスプレイを閉じる際は、キーボード面との間には、物 (ペン、書類、マウス・AC アダプタのケーブルなど) を挟まないようご注意ください。またスリムコンバーチブル (2 in 1 モデル) の場合にタブレットモードにする際も、液晶ディスプレイ背面と装置底面の間には、物を挟まないようご注意ください。



- 液晶ディスプレイを開いたまま、パソコン本体を裏返して置かないでください。

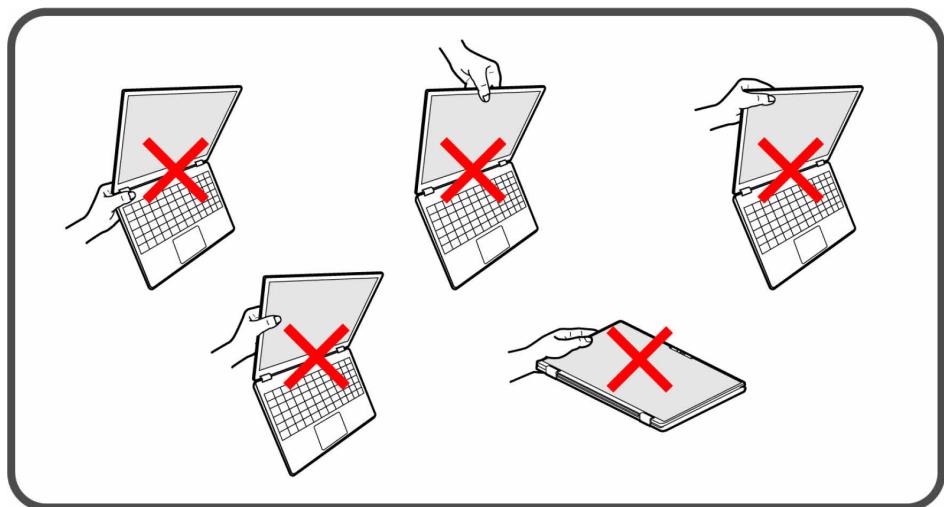


パソコンを持ち運ぶときは

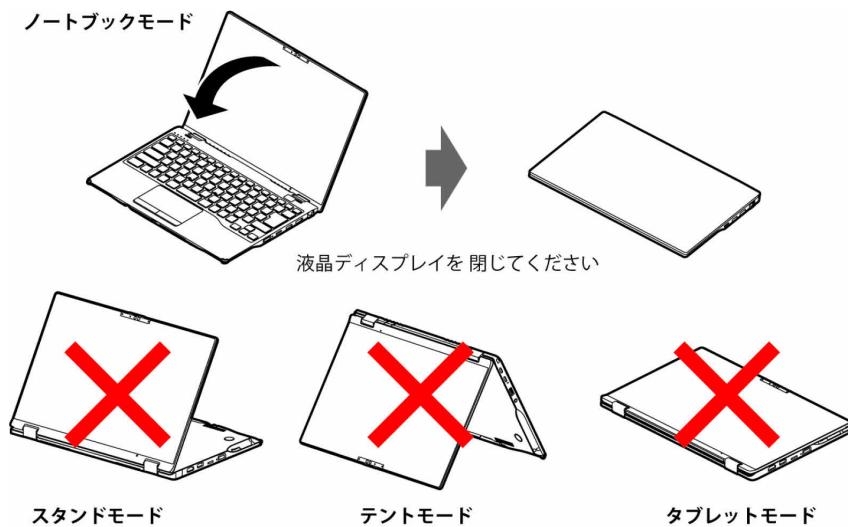
- 電源が入った状態（スリープ中も含む）で持ち運ばないでください。また、パソコンの電源を切った後は、5秒以上待ってから持ち運んでください。
- ポートリプリケータに対応している機種の場合、持ち運ぶときにはポートリプリケータを取り外してください。接続したまま持ち運ぶとケーブル、パソコン本体、ポートリプリケータのコネクタを破損するおそれがあります。また、ポートリプリケータが外れ、落下するなどしてけがの原因となります。
- メモリーカード、またはスマートカードなどのスロットを搭載している機種で、スロットにカード類をセットしている場合、必ず取り外してください。カード類を取り付けたまま持ち運ぶと、パソコンやカード類を破損するおそれがあります。
- USB 接続機器を接続している場合、必ず取り外してください。機器類を取り付けたまま持ち運ぶとパソコンや機器類を破損するおそれがあります。

● 液晶ディスプレイを閉じて持ち運んでください。

次のような状態での持ち運びは、液晶ディスプレイ／タッチパネル表面やベゼルに力が加わり、ガラス部が破損する危険性があります。また Web カメラ付近をつかんでの持ち運びは、カメラ部の圧迫により、カメラが破損する危険性があります。（詳しくは「Web カメラの取り扱い」（→P.9）をご覧ください。）



- スリムコンバーチブル（2 in 1 モデル）の場合、持ち運びの際は、必ずノートブックモード（通常の状態）で液晶ディスプレイを閉じてください。



- パソコン本体を持ち上げたり移動させたりするときは、両手でつかみ、落とさないようにしてください。片手での持ち運びは、局所的な圧迫や落下の危険性があります。
- パソコンをかばんやケースに入れずに持ち運ぶ場合は、パソコンを閉じた状態で両手で保持してください。



- 複数台を積み重ねた状態での設置・持ち運びはしないでください。



- パソコン本体や AC アダプタを持ち運ぶ場合は、ぶつけたり落としたりしないでください。かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。
- パソコンをかばんやケースに入れて持ち運ぶ場合は、パソコンに接続しているマウス、USB メモリなどの周辺機器をすべて取り外してください。周辺機器を接続したまま、かばんやケースに入れて持ち運ぶと、USB コネクタ部を破損するおそれがあります。
- パソコンをかばんの中などに入れて携帯する場合は、ボタン、スイッチなどが押されて動作しないように、向きに注意して入れてください。
- かばんに収納する際は、同梱物による局所的な圧迫発生にご注意ください。パソコン本体上面（天板）からの局所圧迫によってガラスが割れ、パソコン本体底面からの局所圧迫では内蔵部品変形・破損の危険性があります。また、局所圧迫の場所によっては、パソコンに歪みが発生し、ご使用時にがたつくおそれがあります。



- パソコン用ケースに収納の際は、本製品サイズに合ったものをご利用いただき、マウス・ACアダプタ・モバイルルーター等との同時収納による圧迫にご注意ください。パソコン本体上面（天板）からの局所圧迫によってガラスが割れ、パソコン本体底面からの局所圧迫では内蔵部品変形・破損の危険性があります。



- パソコン本体を自動車内に設置した状態での使用は、保証しておりません。
- 自転車やバイクのカゴなどにパソコン本体を直接載せて運ばないでください。かばんやパソコン用ケースなどに入れて持ち運んでください。

Web カメラの取り扱い

Web カメラは次のような点に注意して取り扱ってください。Web カメラの映像がぼやけて正しく映らなくなることや、Web カメラの映像が映らなくなるおそれがあります。

- 液晶ディスプレイを開いたり閉じたりするときは、Web カメラレンズ前のクリア部分に触れるることは避け、つめや指輪などの堅いものが当たらないようにしてください。



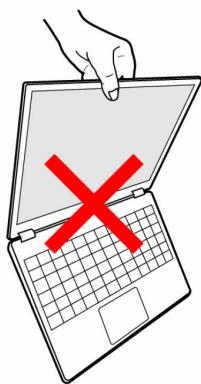
[液晶ディスプレイの開閉操作]



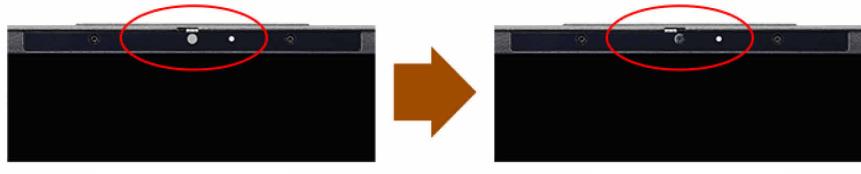
親指の腹を取っ手に引っかけたまま、液晶ディスプレイの開け閉めを行う



- パソコンを持ち運ぶときは、液晶ディスプレイを閉じて持ち運んでください。
次のような Web カメラ付近をつかんでの持ち運びは、カメラ部の圧迫により、カメラが破損する危険性があります。



- カメラシャッター操作時は、Web カメラレンズ前のクリア部分に触ることは避けていただき、つめや指輪などの堅いものが当たらないようにしてください。



- 機種によっては、Web カメラに保護用のフィルムが貼られています。保護用のフィルムは、はがしてお使いください。



保護用のフィルムの例。機種によって保護用のフィルムの形状は異なります。

- Web カメラレンズ（レンズ前のクリア部分）のお手入れについて
つめや指輪などで傷をつけないように注意しながら、乾いた柔らかい布かメガネ拭きを使って軽く拭き取ってください。ティッシュペーパー、水、中性洗剤を使用して拭かないでください。

重要

- ▶ 化学ぞうきんや市販のクリーナーを使うと、成分によっては、表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは使わないでください。
 - ・アルカリ性成分を含んだもの
 - ・界面活性剤を含んだもの
 - ・アルコール成分を含んだもの
 - ・シンナー やベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・研磨材を含むもの

放熱について

- 長時間使用すると、パソコン表面の温度が上昇して、温かく感じることがあります。故障ではありません。これは、パソコン内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するので、キーボードなどの表面も温かくなるためです。
- パソコン本体および AC アダプタは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがあります。ご注意ください。
- 電源が入っているときに液晶ディスプレイを閉じてもスリープしない設定にしたときは、パソコンの液晶ディスプレイを閉じないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因となります。
- 台所などの油を使用する場所の近くでは、パソコンを使わないでください。油分がパソコン内部に入つて CPU ファンに付着し、放熱性能を低下させるなどして故障の原因となります。（CPU ファン非搭載機種の場合も故障の原因となります。）
- ひざの上などでは使用しないでください。パソコンの底面が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。
- 排気孔周辺は熱になりますので、使用時には触れないでください。（排気孔非搭載機種は除く）
- 使用するアプリによっては、パームレスト部（手を載せる部分）が多少熱く感じられることがあります。長時間使用する場合には低温やけどを起こす可能性がありますので、ご注意ください。

落雷のおそれがあるとき

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。また、雷が鳴り出したら、パソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても本/パソコンを保護できないことがあります。

場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Limited 2024

ノートパソコンの取り扱いについてのご注意
B5FL-1271-01 Z0-04
発行日：2024年4月
発行責任：富士通株式会社
〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。